

平成28年7月31日(日)

産経新聞

号外

産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN
発行所 ©産業経済新聞東京本社2016
〒100-8077東京都千代田区大手町1-7-2
☎東京(03)3231-7111 (大代表)



元横綱 千代の富士死去

優勝31回、国民栄誉賞

61歳



大相撲の第58代横綱千代の富士として史上3位の優勝31度を誇った九重親方(本名・秋元貢(あきもと・みつぐ))が31日、死去した。九重部屋関係者が明らかにした。61歳。北海道出身。

昭和45年秋場所で初土俵を踏み、49年九州場所で十両へ昇進し、50年秋場所で新入幕を果たした。56年初場所には関脇の地位で初優勝し、大関昇進。同年名古屋場所後に横綱の地位に就いた。軽量ながら鍛え上げられた肉体で、右前まわしを引きつけての速攻や豪快な上手投げを得意とした。精悍な風貌から「ウルフ」の愛称で親しまれ、角界初の国民栄誉賞を受賞した。

平成3年夏場所限りで引退。横綱在位は北の湖に次ぎ史上2位の59場所だった。通算勝ち星1045勝は歴代2位。

4年に九重部屋を継承し、大関千代大海や小結千代鳳ら多くの関取を育てた。20年初場所後に日本相撲協会の理事となり、協会ナンバー2の事業部長に就きながらも26年の理事候補選では落選した。

27年5月には60歳を前に歴代横綱10人目の還暦土俵入りを披露したが、同年9月に早期の臍臓(はらわた)がんで手術を受けていたことを公表。今年1月の理事候補選は、支持票の不足から土壇場での出馬を断念した。

61歳で死去した元横綱千代の富士の九重親方。優勝31度を飾り、国民栄誉賞にも輝き、「ウルフ」の愛称でも親しまれた。平成27年5月31日、両国国技館(山田俊介撮影)

産経新聞 購読のお申し込みは ☎0120-34-4646

産経ニュース <http://www.sankei.com>